

資料・付録

高梁川流域浸水図



番号	場所	時刻	日羽水位	備考
①	三軒茶屋	21:30	11.20m	R180
②	細瀬	21:30	11.20m	進入路
③	種井	21:10	10.74m	R180
④	影	20:30	10.13m	門瀬
⑤	美袋5区	22:30	10.13m	疫神踏切
⑥	下村	20:00	13.12m	高梁川堤防
⑦	作原下	20:00	9.55m	R180
⑧	草田	22:30	12.04m	溢水又は決壊
⑨	日羽8区	21:00	10.74m	大月 博宅付近
⑩	日羽伯備線下	20:00	9.55m	市道
⑪	日羽妙見橋	21:00	10.74m	R180
⑫	柳谷	21:00	10.74m	R180
⑬	福谷	20:10	7.30m	滝の端本線
⑭	穴粟無堤部	20:00	9.55m	賀陽運送付近
⑮	穴粟	21:00	10.74m	伯備線橋梁下
⑯	穴粟	0:00	13.07m	明治橋R180
⑰	下原	11:30		小田川からの浸水
⑱	黒田	21:30	日羽11.20m 酒津8.77m	黒田入口

※ 浸水時刻は、消防団員、地元住民の証言及び過去のデータによる。

自治体支援（物資）

自治体名	支援物資	数量
宮城県仙台市	毛布	3,000
	敷毛布	200
	アルミシート	5,800
長野県飯田市	毛布	2,000
熊本県熊本市	ブルーシート	500
福岡県田川市	ブルーシート	200
福島県相馬市	毛布	3,000
福島県南相馬市	毛布	2,000
	ブルーシート	200
玉野市	毛布	200
瀬戸内市	毛布	300
三重県津市	毛布	1,000
富山県富山市	毛布	1,000
山口県山口市	エアベッド	50
神奈川県大和市	携帯トイレ	1,200
	ウェットティッシュ	2,000
長野県茅野市	ブルーシート	200
大阪府和泉市	ブルーシート	700
	ブルーシート	460
	飲料	840
	おむつ, 生理用品	21
埼玉県本庄市	土のう袋	2,000
	ブルーシート	100
	飲料水 1.5ℓ (480本), 2ℓ (144本)	624
大阪府松原市	安全靴	40
埼玉県和光市	飲料水 1.5ℓ	100
	ブルーシート	50
福井県勝山市	ブルーシート	200
神奈川県伊勢原市	毛布	500
三重県名張市	毛布	300
	飲料水 1.5ℓ	200
京都府与謝野町	ブルーシート	110
鹿児島県日置町	飲料水 2ℓ	1,320
静岡県浜松市	飲料水 500mℓ	5,760
	ブルーシート	300

福島県伊達市	ブルーシート	200
	角スコップ	36
	笹ほうき	120
	缶詰 500 他	
新潟県見附市	ブルーシート	300
高知県高知市	飲料水 500mℓ	24,000
熊本県菊池市	飲料水 500mℓ (300 本), 1.5ℓ (4 本)	304
	土のう袋	3,050
東京都杉並区	飲料水 2ℓ	300
	土のう袋	100
	軍手	1440
	タオル	3000
	トイレットペーパー	480
	ウェットティッシュ	2400
	アルコール	1000
	ゴミ袋	200
	災害用テント	2
東京都稲城市	飲料水 1.5ℓ	1,920
	土のう袋	400
	皮手袋	38
香川県高松市	消石灰	170
群馬県太田市	うちわ	380
浅口市	麦わら帽子	500
愛媛県西条市	下着	2,500
	生理用品等生活用品	
美作市	土のう袋	1,000
備前市	土のう袋	2,300
新見市	土のう袋	1,000
赤磐市	土のう袋	5,200
津山市	土のう袋	2,000
津山圏域消防本部	土のう袋	500
高知県香美市	防災食ラーメン	2,300
	生理用品	11,133
	紙おむつ	29,892
岡山県	毛布	250
長崎県対馬市	長靴	50

主な支援団体

一般社団法人総社青年会議所
一般社団法人 Ap Bank
(社団)吉備医師会
総社市内郵便局（総社郵便局）
総社市建設業協同組合
総社市管工事協同組合
(株)カルピス 岡山工場工場
太洋開発株式会社（サントピア岡山総社）
大黒天物産(株)
レンゴー(株) 岡山工場
(社福)雪舟福祉会（セレーノ総社）
(社福)超寿会（特養 いずみの杜）
(社福)新生寿会（総社市山手福祉センター）
(社福)スキーム福祉の会（特養 グリーンアクトリバーホーム）
(社福)経山会（特養 三清荘）
(社団)岡山県柔道整復師会
生活協同組合おかやまコープ
岡山県美容生活衛生同業組合総社支部
岡山弁護士会会長
(株)エフエムくらしき
(一社)岡山県トラック協会備中支部総社分会
山崎製パン株式会社岡山工場
国民宿舎サンロード吉備路
大惣（株）
吉備路学園
岡山西農業協同組合

総社市復興ビジョン委員名簿

団体名・役職	氏 名
昭和地区復興委員会代表者	浅沼 弘
下原地区復興委員会代表者	小西 安彦
総社市コミュニティ地域づくり協議会会長	平松 秀昭
総社商工会議所会頭	清水 男
総社吉備路商工会会長	吉澤 威人
総社市社会福祉協議会会長	風早 昱源
岡山県立大学学生部長	高橋 吉孝
株式会社 LIFULL 地方創生推進部	後藤 大夢
総社青年会議所理事長	小坂 啓二（～H30.12） 松本 健司（H31.1～）
総社商工会議所青年部会長	佐野 秀人

中長期派遣職員名
平成30年度

派遣元	氏名	所属	職名	期間
島根県津和野町	日熊 憲明	農林課工務係	主査	H30.10.1~H31.3.31
鹿児島県日置市	南 義人	土木課工務係	主査	H30.10.1~H31.3.31
長野県茅野市	名取 弘晃	土木課工務係	主任	H30.10.1~H31.3.31
大阪府和泉市	中塚 崇智	土木課工務係	主事	H30.10.1~H31.3.31
	戸谷 祐大	土木課工務係	主事	H30.10.1~H31.3.31
岡山県赤磐市	石井 徹	建築住宅課	主幹	H30.11.1~H31.3.31
福井県勝山市	岩岡 貴央	税務課資産税係	課長補佐	H30.11.1~H31.3.31
鳥取県境港市	木田 徳治	環境課美化推進係	主査	H30.11.1~H31.3.31
鳥取県米子市	戸崎 聡	危機管理室	主任	H30.11.1~H31.3.31
京都府与謝野町	糸井 健博	福祉課福祉総務係	主任	H30.11.1~H31.3.31
東京都三鷹市	宮川 純貴	福祉課福祉総務係	主事	H30.11.1~H31.3.31
鹿児島県鹿児島市	堂園 真一	環境課美化推進係	主事	H30.11.1~H31.3.31
神奈川県伊勢原市	佐藤 淳一	危機管理室	主事	H30.11.1~H30.11.30
	鈴木 利弘	危機管理室	課長補佐	H30.12.1~H30.12.31
	田中 誉人	危機管理室	課長補佐	H31.1.1~H31.1.31
	飯嶋 智雄	危機管理室	主事	H31.2.1~H31.2.28
	石井 崇史	健康医療課保険年金係	主事	H31.3.1~H31.3.31
三重県名張市	西川 忠孝	税務課資産税係	主査	H30.11.1~H30.11.14
	吉岡 一樹	税務課資産税係	主任	H30.11.15~H30.11.29
	堤 隆太	税務課資産税係	主事	H30.11.30~H30.12.13
	中嶋 優子	税務課資産税係	課長補佐	H30.12.14~H30.12.27
大阪府松原市	前田 祐希	環境課美化推進係	主事	H30.12.1~H31.3.31
福井県小浜市	重田 敬之	税務課資産税係	主査	H31.1.1~H31.3.31
香川県三豊市	高橋 正人	税務課資産税係	主事	H31.1.1~H31.3.31

平成31年度（令和元年度）

派遣元	氏名	所属	職名	期間
鹿児島県日置市	宇都 健一	土木課工務係	主任	H31.4.1~R2.3.31
長野県茅野市	牛山 和雄	土木課工務係	主任	H31.4.2~R2.3.31
岡山県赤磐市	石井 徹	建築住宅課	主幹	H31.4.1~R2.3.31
福井県勝山市	松村 勇希	環境課美化推進係	主任	H31.4.1~R1.9.30
鳥取県境港市	吉川 栄治	福祉課福祉総務係	主任	H31.4.1~R2.3.31
鳥取県米子市	加賀 政広	危機管理室	主任	H31.4.1~R2.3.31
京都府与謝野町	上田 春香	福祉課福祉総務係	主事	H31.4.1~R2.3.31
鹿児島県鹿児島市	市原 功也	環境課美化推進係	主事	H31.4.1~R2.3.31
大阪府松原市	前田 祐希	環境課美化推進係	主事	H31.4.1~R2.3.31
香川県三豊市	赤池 賢史	税務課資産税係	主事	H31.4.1~R1.9.30
埼玉県本庄市	原 洋介	税務課資産税係	主任	H31.4.1~R2.3.31
長崎県対馬市	松村 直哉	税務課資産税係	主事	H31.4.1~R2.3.31
神奈川県大和市	田代 美沙	健康医療課保険年金係	主事	H31.4.1~R2.3.31
新潟県見附市	近藤 健太	健康医療課保険年金係	主事	H31.4.1~R2.3.31
新潟県新潟市	内山 貴裕	福祉課福祉総務係	主事	H31.4.1~R2.3.31
岡山県	近藤 洋平	環境課美化推進係	主任	H31.4.1~R2.3.31
長野県飯田市	吉村 啓史	危機管理室（危機管理アドバイザー）		R1.5.1~R2.3.31

平成 30 年 7 月 31 日

総社市災害対策本部

未曾有の大災害

平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）総社市内の被害状況

平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）により、市内では多大な被害が発生しました。
この紙面では、写真を交えて被害状況などをお知らせします。



避難準備情報を発令した直後の災害対策本部【7/6】



水位が上昇した高梁川【7/7】

活発な梅雨前線の影響などで、7月5日から7日にかけて市内は大雨に見舞われました。

市内で初となる大雨特別警報

気象庁は、5日午後3時39分、総社市に大雨警報、午後6時30分に洪水警報を発令しました。

日が変わり6日午前9時25分、土砂災害警戒情報を発令。20分後の午前9時45分に災害対策本部を設置しました。

午前10時、市は下林、赤浜、秦、昭和、池田、宿、岡谷地区に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令。午後1時には、秦・昭和・池田地区の山際に「避難勧告」を発令しました。午後8時48分には、日羽地区全域に「避難勧告」を発令しました。

上昇する日羽の水位計

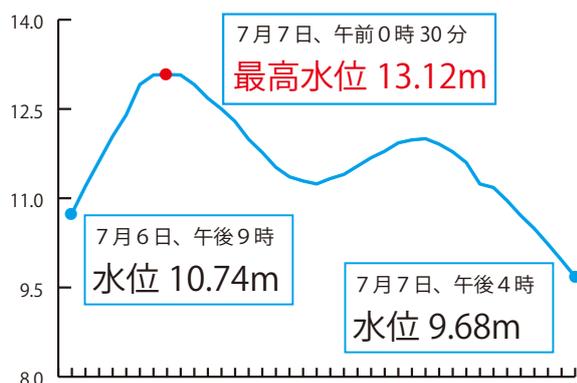
この間も、日羽の水位は上昇しました。午後9時の時点で避難判断危険水位である10.3mを超え、30分後には氾濫危険水位である11mを超える11.2mを観測。これを受け、午後9時30分、市内全域に「避難勧告」を発令しました。

5分後、気象庁は総社市内で初となる大雨特別警報を発令。市では午後10時15分、全域に「避難指示（緊急）」を発令し避難所を開設。約7300人の市民が避難しました。

日羽の水位は、7日午前0時30分に最高水位13.12mを観測。以降は計測不能となりました。

日羽の高梁川水位

(7/6、21:00～7/7、16:00)





大雨で冠水した日羽地区（作原）付近【7/7】



激流で決壊した下倉地区（草田）の堤防



爆発したアルミ工場



工場爆発によって多数の家屋が被害を受けた

多数の家屋が水没。死者も

6日、日羽の国道180号が冠水したため、封鎖に向かった作業員17人が、急激に水位が上昇した高梁川の濁流により孤立。そのうち2人が飲み込まれ、行方不明になりました。

下倉地区（草田）でも、農機具倉庫の様子を見に行った男性が、決壊した堤防から流れ込んだ濁流に流されました。

市内では計4人が尊い命を落とされています。

総社市消防でも、日羽地区の孤立した住民を救助するために冠水した道路にボートを出したところ、消防隊員3人が濁流に飲まれました。2人は約1時間後に10キロ下流の高梁川で発見され、残る1人の行方が分からないままでしたが、7日昼過ぎに13キロ下流で発見され、県の防災ヘリで救助されました。

追い討ちをかけるアルミ工場の爆発

市内全域に避難指示（緊急）が発令されていた6日午後11時35分ごろ、下原地区にあるアルミ工場の溶解炉で冠水したことが原因とみられる爆発事故が発生。同工場からの飛来物で民家や車庫が火災に見舞われたほか、爆風で多数の家屋や倉庫に窓ガラスが割れる被害が発生しました。

市では爆発後、所有するバスを下原地内に緊急配備。住民は、きびじアリーナへ避難しました。

工場の火災は発生からおよそ10時間後の7日午前鎮圧状態となりましたが、下原地区一帯は、浸水被害と工場爆発の2重の被害を受けることとなりました。

過去に例がない 大規模災害に見舞われた市内



冠水した下原地区【7/7】



冠水した明見橋付近【7/7】



水位が上昇した新本川【7/7】



槇谷で発生した土砂崩れ



大雨で浸水した昭和公民館【7/6】



被害を受けた福谷地区の道路



冠水した下倉地区（草田）【7/7】



災害ごみが流れ着いた美袋洞門【7/6】

■被害状況（7月9日午後5時現在）

	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水	計
総社・常盤・池田	1	0	0	14	55	70
三須・服部・阿曾	0	0	0	0	0	0
秦・神在・久代・ 山田・新本	6	7	17	251	83	364
昭和	0	0	1	237	73	311
山手・清音	0	0	0	74	158	232
計	7	7	18	576	369	977



冠水した明治橋交差点付近【7/7】



週休日にも関わらず多くの人が受付



市役所に寄せられた支援物資は、フリーマーケット方式で被災者の元へ

復旧を加速させる 1万人超のボランティア



「熊本地震の恩返しに」と参加した熊本県益城町の町民とアルピニストの野口健さん



日羽地区に集まったボランティア



水田に飛散した災害ごみを拾う



軽トラいっぱいにごみを搬出



他の自治体からも多数の応援が

困ったときはお互い様

発災後から、多数のボランティアに市内での復旧活動に取り組んでいただきました。

7月8日は、ツイッターの呼び掛けで集まった市内の中学生・高校生らが約1000人参加。避難所に配付する食事の準備や土のう作りに汗を流しました。

7月14日から16日までの3連休では、約3500人が県内外から参加。これまでに1万人を超える方が総社の復興に尽力してくださっています。



災害ごみの一時仮置き場は重労働

被災された方にお見舞いを申し上げます。市は1日も早い復興に向けて全力を尽くします

総社市における主な災害歴

災害を語り継ぎ教訓とする

「天災は忘れたころにやって来る。」この言葉は、自然災害は以前の被害を忘れたところに再び起こるもの。何事も日頃から油断することなく備えておかなければいけないとの戒めである。過去に起きた災害を未来へ語り継ぐこと、これも大切な防災。以下に明治時代以降で市内に大きな被害を及ぼした水害・土砂災害を掲げる。

年 月	主 な 被 害 状 況
1893年（明治26年） 10月 （高梁川流域 最大級の水害）	11日未明から降雨が続き、特に13日夜半から台風接近に伴い暴風雨となる。雨量のピークは14日正午前後。日美村、湛井堰下流（六本木）、池田村、清音村、三須村（十二ヶ郷用水）、秦村、神在村、川辺村など高梁川流域の多くの箇所ですべて堤防が決壊し、甚大な被害が発生した。特に、湛井堰下流左岸堤防の決壊では、影響は吉備津付近まで及び、湛井堰近郊だけで死者160人。この水害を契機に高梁川の堤防工事を計画、明治40年工事着手、大正14年に現在の堤防が築かれた。（総社市史、昭和町史、常盤村史、清音村史等から）
1934年（昭和9年） 9月 （室戸台風）	9月20日から21日にかけて「室戸台風」が襲来し、県下の3大河川は氾濫して高梁川では特に中上流部で激甚な被害が発生した。富山村では県道（現国道）崩落、水内橋流出などの被害が生じた。県下の死者145人、住家全壊4,696戸など（岡山県：昭和9年風水害史から）
1972年（昭和47年） 6、7月 （通称47災害）	7月9日から13日の累計雨量は291.5ミリ、日最大116.5ミリ（13日）、1時間最大25ミリ。 重傷2人、軽傷2人、全壊2棟、半壊2棟、床上浸水68戸、床下浸水150戸。（6、7月合計） 秦で土砂災害。草田の堤防決壊、床上浸水約50戸。阿曾久米田川決壊等小河川氾濫。湛井合同井堰下流部左岸大規模な洗掘、避難指示を一時検討。真備町小田川決壊。
1976年（昭和51年） 9月	台風17号と前線により県南部で豪雨。 市内では、8日から14日の累計雨量約450ミリ。小河川が各所で氾濫した。負傷者2人、半壊7棟、床上浸水102戸、床下浸水572戸。 真備町小田川決壊。
2013年（平成25年） 9月	台風17号及び前線による豪雨 日羽で大規模な土石流が発生。1棟全壊、1棟半壊。日羽の一部に避難勧告を発令。美袋で4日6時から9時までの3時間で57ミリの雨量を観測。
2018年（平成30年） 7月 （平成30年7月豪雨）	台風7号及び前線による豪雨（県下に大雨特別警報発表） 5日から降り出した雨は、6日深夜にピークを向え、7日にかけて上流ダムの放流と相まって高梁川の水位が上昇。日羽観測所で最高水位13.12メートル。4日から7日までの総雨量は298ミリを観測し、草田で堤防決壊、作原で越水など大きな被害となった。特に下原では、アルミ工場の爆発による爆風と小田川の決壊に伴う浸水の二重の甚大な被害となった。 死者9人（関連死5人を含む）、負傷者38人、住家被害は全壊84棟、半壊544棟。倉敷市真備町小田川及び支流決壊。総社市に初の避難指示（緊急）を発令。（全域）

平成30年7月31日

広報 そうじゃ 8月号 休刊のお知らせ

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）に伴う対応のため、『広報そうじゃ』8月号は休刊いたします。
次回は9月号を9月1日付で発行する予定です。
ご理解とご協力をお願いいたします。



【問い合わせ】
〒719-1192
岡山県総社市中央一丁目1番1号
総社市役所市政情報課広報広聴係
電 話 (0866) 92-8214
FAX (0866) 92-8216
メール shiso@citysojajokayama.jp

■災害に関する情報について

豪雨災害に関する市からの情報は、日々更新されています。
最新の情報は、市ホームページや公式フェイスブック、公式ツイッター、
そうじゃメールマガジンでご確認ください。
各避難所や昭和・下原出張所などで配布している「そうじゃ絆通信」でも
情報を確認いただけます。

市ホームページ <http://www.citysojajokayama.jp/>

※「そうじゃ絆通信」は、ホームページからもご覧いただけます



※8月の当番表、水道等給当番については、裏面をご覧ください。

広報 そうじゃ

わたしたちが考え、わたしたちが行動するまち

平成30年7月豪雨
(西日本豪雨)

CONTENTS

- 大曲戸塚社を頼り 2
- 災害関連Information 6
- コロナブブ市誌 8
- お国らせ 10
- 市民協会スポーツ賞 21
- 市職員表彰 23

2018
平成30年
No. 161

9



約1000人の中高生らが
ボランティアに立ち上がる

広報 そうじゃ

わたしたちが考え、わたしたちが行動するまち

西日本豪雨の
復興支援は続く

CONTENTS

- 1日1町をめぐり 2
- 災害関連Information 6
- お国らせ 10
- イフワンクラブ 21
- 聞いてほしい 25
- アトニュース 26

2018
平成30年
No. 162

10



「総社流」支援物資のフリーマーケットで
被災者のニーズに応える

平成30年7月豪雨 災害対応 記憶誌

令和元年（2019年）7月

発行 総社市危機管理室

〒719-1192

岡山県総社市中央一丁目1番1号

TEL 0866-92-8599 FAX 0866-93-9479

E-mail kikikanri@city.soja.lg.jp(LGWAN)

kikikanri@city.soja.okayama.jp

